

●キャスティング (投げる) の時は、ペールを起すことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にけがをさせるおそれがあります。

●キャスティング (投げる) の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをすることがあります。

●ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っているとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをすることがあります。

●糸が勢いよく出ている時は、糸に当たらないでください。

●糸を切るおそれがあります。

●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に当たらないでください。けがをすることがあります。

●回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをすることがあります。

●リバーブリーキ付きリールでは、リバーブ操作する時、指を伸ばすと回転しているローターに当たりけがをすることがあります。

安全上のご注意 **使用前に必ずお読みください。**

注意

BB-X

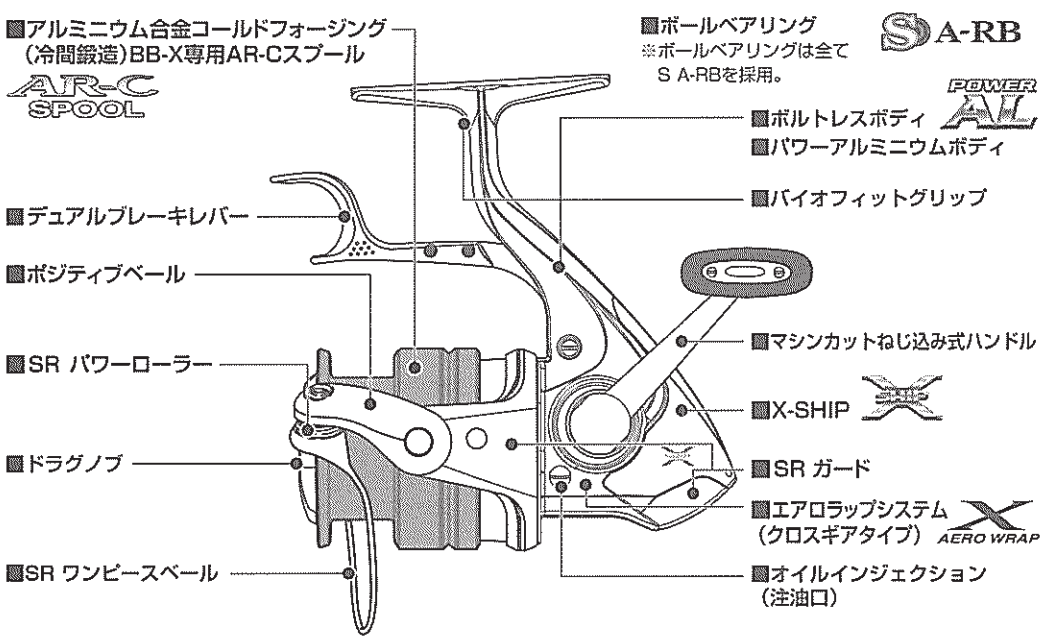
Larissa

取扱説明書

SHIMANO

このたびは、BB-X LARISSA シリールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。また、BB-X LARISSA シリールの機能を十分に引き出し、永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様に大切に保管していただくようお願い申し上げます。

各部の数々の機能・装備



●スペック一覧

品番	商品コード 製品コード	ギア比	実用 ドラグ力 (N/kg)	最大 ドラグ力 (N/kg)	最大 ブレーキ力 (N/kg)	自重 (g)	ナイロン 糸巻量 (号・m)	フロロ 糸巻量 (号・m)	PE 糸巻量 (号・m)	ベアリング (ボール/ ローラー)	スプール径 (2mm/ ストローク)	最大巻上長 (cm/ ハンドル1回転)
BB-X LARISSA 2500D	02823 5SE08E025	5.0	34.3/3.5	78.4/8.0	78.4/8.0	280	2-170 2.5-150 3-120	2-140 2.5-125 3-100	1-320 1.2-220 1.5-160	S A-RB 4/0	47.5/14.5	75
BB-X LARISSA 2500DHG	02824 5SE08E027	6.0	34.3/3.5	78.4/8.0	78.4/8.0	280	2-170 2.5-150 3-120	2-140 2.5-125 3-100	1-320 1.2-220 1.5-160	S A-RB 4/0	47.5/14.5	90
BB-X LARISSA C3000D	02825 5SE08E030	5.0	34.3/3.5	78.4/8.0	78.4/8.0	280	2.5-180 3-150 4-100	2.5-160 3-130 4-100	1-400 1.5-270 2-180	S A-RB 4/0	47.5/14.5	75
BB-X LARISSA C3000DHG	02826 5SE08E032	6.0	34.3/3.5	78.4/8.0	78.4/8.0	280	2.5-180 3-150 4-100	2.5-160 3-130 4-100	1-400 1.5-270 2-180	S A-RB 4/0	47.5/14.5	90

- ※最大ブレーキ力は他機種同サイズのドラグなしスプールをつけた場合の数値です。
- 製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ボールベアリングには、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にした S A-RB を使用しています。

商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に記載しています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧ください。製品名と製品コードをお知らせください。(例/製品名: ステラ1000S 製品コード: SD83B012)
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えください。お問い合わせの旨をお知らせいたします。
- 修理に出される際には、お買い上げの販売店もしくは最寄りの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に (例/ストッパーが働かない) お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールの取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部

数々の機能・装備

X-SHIP

これまでシマノが注力してきたトータルの回転性能 (Super SHIP) に磨きをかけ、究極 (Extra) の形に進化したのが X-SHIP です。回転性能の心臓部であるギアシステムを一から見直し、ギアの大型化と最適配置、歯面精度や支持剛性の向上、回転抵抗の排除を行うことで究極の回転性能を実現。異次元の回転軽さ、高感度、圧倒的なパワーを得て、シルキーかつスムーズなフィーリングを更に高めることに成功しました。まさに次世代リールの新基準です。

BB-X専用AR-Cスプール

AR-Cスプールは今までのスプール形状の常識を覆した画期的なスプール形状です。今までのスプール形状は飛距離を追求すれば、「順テーパー形状」が良く、トラブルを重視すると「逆テーパー」が良いとされてきました。この2つのキャストリングにおける重要な目的を同時に達成する為に生まれたのが新設計「AR-Cスプール」です。ご覧のとおりスプール前ツバリング部は特殊な形状をしており、この効果によりキャスト時にラインの放出がベストな状態に整えられます。この「ライン整流効果」により、飛距離を犠牲にせずにトラブルレスを達成しているのです。スプールの形状は何万回ものキャストテストにより確認を行い、キャストにおけるライン放出の抵抗を減らすこと、ライントラブルを減らすことを理想的に実現した形状になっています。さらに、このBB-Xリールに採用されているAR-Cスプールはスプールの形状をBB-X専用設計しました。上記のAR-Cスプールの特徴に加えて、シカケを流す時などに指とスプールエッジがフィットしてラインを操作しやすいスプール形状になっています。

エアラップシステム

スプール上に整然と密にラインを巻き上げることで、ラインの放出抵抗を減少させ、キャストフィーリングが向上するとともに、エアラップシステムの回転効率の良さがリールの回転フィールを滑らかにします。

デュアルブレーキレバー

ボディに内蔵されるアーム部分には極薄ステンレス材を、指に触れるレバー部分の材質には高強度樹脂を、と材質を使い分ける事によりスリムなボディデザインと高級感あふれるレバーデザインを両立させました。また、ボルト2本を外すことで簡単に分離することができ、夢屋オリジナルレバーへの交換もお客様ご自身で行うことが可能です。(操作方法は「レバーの取り外し方」項目参照。)

オイルインジェクション

オーバーホールすることなく、駆動部の要所に直接注油 (オイルアップ) を可能にすることで、リールのコンディションと寿命をキープすることができます。

フローティングシャフト

ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたメインシャフトとピニオンギアの間に、非接触部分を大きく取ることで摩擦を大きく軽減しています。

S A-RB

すべてのボールベアリングに、新設計のシールドタイプ S A-RB を採用。従来の A-RB の側面に防錆素材でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB 処理によるベアリングの防錆性はもろろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による「塩詰り」をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

SR パワーローラー

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻くときに生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻く時、テンションの強弱にも安定して糸のヨレを解消する新開発「SR パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。(当社比、基準による)

SR バランスボディ

3D解析技術により、リールの脚の前で重量配分を均等にしました。これによりリールの持ち重り感を減少し、キャスト時の繰り返しにおいてストレスを軽減します。

SR ワンピースベール

ベールはステンレス一体成型による、縦ぎ目のない形状。冷間鍛造により硬く傷つきにくい強度を実現しました。また極細形状により、ベールオープン状態からリールリングへの移行時のラインと金属の摩擦を減らしてラインの滑りを良くし、ライントラブルが減少しました。

ポジティブベール

ベールを開くとカチッとというクリック音が生じ、ベール操作がスピーディに行えます。

アルミニウム合金コールドフォーミング (冷間鍛造) スプール

パワーアルミニウムボディ

ボルトレスボディ

バイオフィットグリップ

夢屋パーツ取り付け可能 (夢屋タイプ)

スプール	リール スタンド	ハンドル	ハンドル ノブ	ハンドル スクリュー キャップ	ブレーキ レバー
B-1	D	H-2	A	HC-2	L-1

※詳細はシマノホームページでご確認ください。

海水使用 OK

シャワー洗浄 OK

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。水中には浸けず洗いしてください。



使用前のご注意

デュアルブレーキレバーの操作

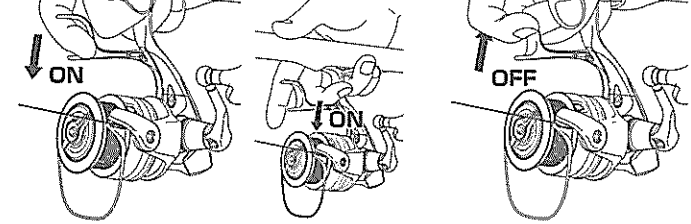
「押して ON、引いて OFF」

魚とのやりとりは、逆転をレバーブレーキでコントロールするのが基本です。とはいえ、エサの付けかえ時などには、不意に逆転することで糸フケが生じ、絡みなどのトラブルを起こしやすいもの。そんな時は、1、2の要領でセーフティストッパーを ON にすれば、ローターの逆転にブレーキが働き、無用な糸の送り出しを防ぐことができます。たとえセーフティストッパーが ON になったままでも、ブレーキレバーを握ることで瞬時に解除されます。

1. 人差し指によるセーフティストッパーの ON

2. 中指で押してもセーフティストッパーは ON

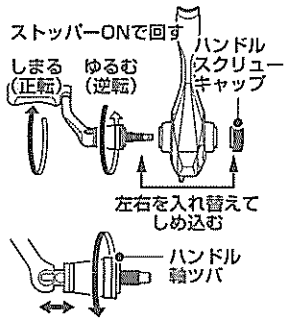
3. ブレーキレバーを握れば瞬時に OFF



ハンドルの左右付け替え方法

ハンドルは左右共用ネジ込み式になっています。左右を入れ替える時はストッパーレバーを ON にしハンドルを数回逆転方向に回転させると、ハンドルがゆるみ、本体より抜けやすくなります。ハンドルとハンドルスクリーキャップを左右入れ替えて、ストッパー ON で正転方向に回して本体にねじ込んでください。

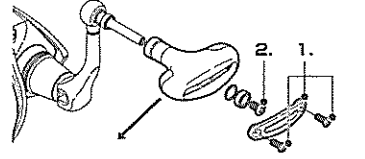
※ハンドルをリールに取り付ける際にねじ込みが途中で止まり完全に固定できなくなった場合は、一度リールから取り外し、ハンドル軸ツバを右側の矢印方向に回転させ上下方向に自由に移動することを確認した上で、再度取り付けを行ってください。



ハンドルノブの取り外し方

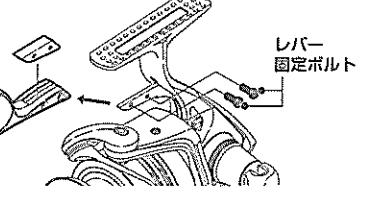
夢屋製品に交換される際は下記の手順で取り外してください。

1. キャップを外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



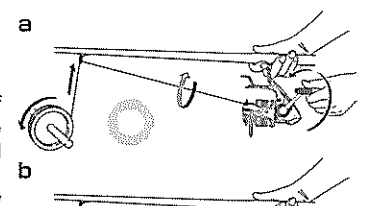
レバーの取り外し方

夢屋製品に交換される際は、2本のレバー固定ボルトをゆるめて取り外してください。夢屋製品を取り付けた後、夢屋製品に付属の2本のレバー固定ボルトを 14.7 ~ 19.6N・cm、1.5 ~ 2kg・cm で締め付けてください。



糸の巻き方

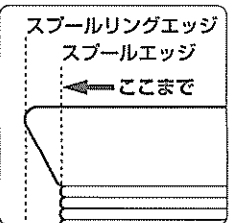
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。糸止めシールをスプールに結んだ糸に貼り付け、ラインをスプールに固定します。
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通して。
5. そのポビンと軸を離れずに持ちもたら、適度（スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度）なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 a）図 b のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に遡らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

推奨糸巻量

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。（右図）スプールリングのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合は AR-C スプールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



糸ヨレについて

ラインローラー（SR パワーローラー）は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨれている時。
2. シカケが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽いシカケを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

糸の止め方

ツメの下側から糸を通して固定して下さい。

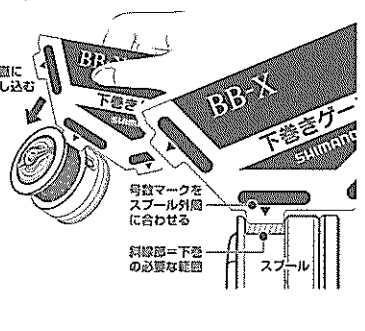


下巻きラインゲージの使用方法

付属の下巻きラインゲージを使うことで、好みの太さの糸を選んで巻くときに、どこまで下巻きが必要なかを簡単に確認することができます。

1. 下図のように付属のゲージをスプールに垂直に差込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。
2. スプールとゲージの間にできたすき間（図の斜線部）が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

※下巻きラインゲージは小箱から取り外してお使いください。



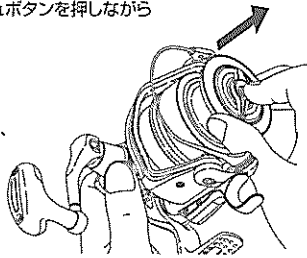
スプールの着脱方法

●取り外し方 右図のように、人差し指でプッシュボタンを押しながらスプールを引いてください。

●取り付け方 スプールを取りつける時は、スプールをゆっくり回しながらカチッと音がするまで押し込みます。確実に装着できたか、一度引っぱってはずれないか確認してください。

（替えスプールについて）

替えスプールはサービスパーツで取り扱っています。お買い上げの販売店にご注文ください。

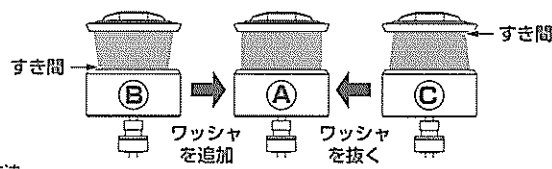


※ワンタッチスプール取り外しでのご注意

ドラグノブを緩めておきますと、プッシュボタンを押してのワンタッチ取り外しがしにくくなります。その場合はドラグノブを締め、スプールを本体側に押し付けながらプッシュボタンを押すことで外れやすくなります。

糸巻形状の調整方法

初期設定は下記それぞれの種類で下図 A のようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは、3号（12lb）以下のナイロン、フロロラインが約160g、3.5号（14lb）以上のナイロン、フロロラインが約300g、そして PE ラインは 2号以下が約500g、2.5号以上が約1kgです。PE ラインは十分テンションをかけて巻き上げて下さい。スプールに巻かれた糸に、爪が食い込みない事が目安です。



●調整方法

上記の基準糸より直径の細いラインを使用すると上図 B の形状となり、逆に太い糸を使用すると C の形状となります。標準な B（＝逆テーパ）形状や C（＝順テーパ）は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスプール調整ワッシャで、A（＝フラットテーパ）に巻き上げて下さい。調整方法は下記の通りです。B 形状の場合… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から追加して少しずつ増やしていき、A の形状に近づけてください。C 形状の場合… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から少しずつ減らしていき、A の形状に近づけてください。

付属しているスプール調整ワッシャは、0.25mm が 2 枚、0.5mm が 2 枚です。尚、使用糸の特性（堅さ、編み方、表面コートの有無等）によって、同じ号数（lb 数）でも、糸巻量や糸巻形状が変化します。

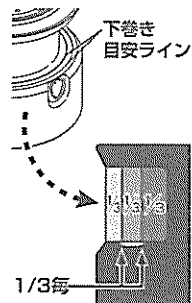
※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特に A（＝フラットテーパ）に巻き上げる為の調整は必要ありません。

下巻き目安ラインの利用方法

スプールには下巻きに便利な下巻き目安ラインを全糸巻量の 1/3 毎に付けました。使用する糸が少なく下巻きする必要がある場合、一つの目安として参考にして下さい。

※シャロスプールタイプは下巻き目安ラインはありません。【例】C3000HG に PE1 号（AR-C）を 150m 巻く場合。PE1 号の全糸巻量は 400m です。全糸巻量 400m を 3（区画）で割ると、約 133m です。3 区画分で合計 400m、1 区画分で約 133m の PE1 号を巻くことができます。つまり、2 区画分である外側の目安ラインまで下巻きすると、残り、PE1 号が約 133m 巻ける計算になります。巻こうとする 150m より 17m 少なく巻ける訳ですので、下巻きは外側の目安ラインより若干少なめにすれば良い事になります。

※下巻きにナイロンラインを使われる時のご注意 「スペック」の糸巻量よりも細いナイロンラインを使用すると、スプールが変形することがあります。

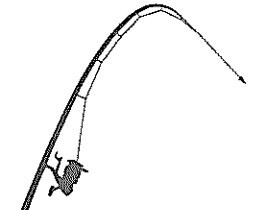


ドラグの調整方法

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通してください。
2. ブレーキレバーを引き上げ、しっかりとブレーキのかかった状態で図のように糸を引き出しながら、ドラグノブの締め付けを調節してください。ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
3. 通常は糸切れを起こす前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節してください。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締めつけてから投げするようにして下さい。ドラグが滑って糸で手を傷つけることがあります。

※根がかりを切るときのように完全にロックする必要がある場合は、スプール・ローターを握り込むなどで、直接スプール・ローターの回転を制止する必要があります。



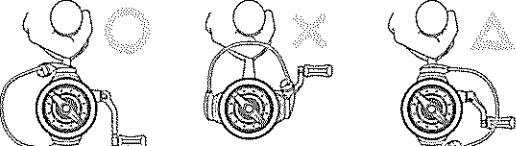
使用中のご注意

キャスト方法

ペールを完全に起こし、図 1 のように人差し指に糸を引っかけて下さい。竿を振りかぶって、人差し指に感じる糸のテンションが最大になる時に、人差し指から糸を解放します。（図 2）その際、ドラグ力が低すぎると、スプールが逆転し指を切る可能性があります。ご注意ください。キャスト後、ペールを手で戻すか、ハンドルを正転させて（ハンドルオートリターン）巻き取りに入ってください。尚、ハンドルオートリターンの際、ハンドルを回す勢いが強過ぎると、ペールに戻り切らない場合があります。

キャスト方法

図の「X」の位置で思い切り投げると、ペールが戻って糸が切れる可能性があります。「A」の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい場合があります。



使用後のご注意

保管上のご注意

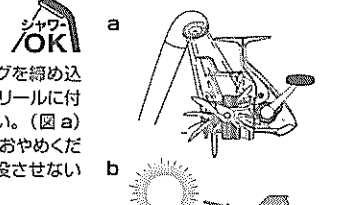
- 海での使用後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外して下さい。
- 塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま温度の高い状態で密閉された空間（自動車のトランク、タッシュボード）に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。

必ず竿から外して下さい。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で洗い流してから保管ください。例え、洗い流されても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

水洗いして下さい。

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。まず、ドラグ内に水が入らないように、ドラグを締め込んで下さい。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを洗い流して下さい。（図 a）温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめ下さい。又、同様の理由で、リール本体を水浸させないで下さい。



乾燥させて下さい。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干しして下さい。その際、ドラグをゆるめ、オイルインジェクションの注油口キャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムシを引き起こします。お避け下さい。（図 b）

注油して下さい。

オイルとグリスは下図を参考にしてください、それぞれ間違えないように噴霧して下さい。尚、グリス、オイルは弊社純正品（右記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H (メンテスプレーセット) …	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー) ……………	¥1,050
SP-023A (グリススプレー) ……………	¥1,100
DG01 (リールドラグ部専用グリス) ……	¥800

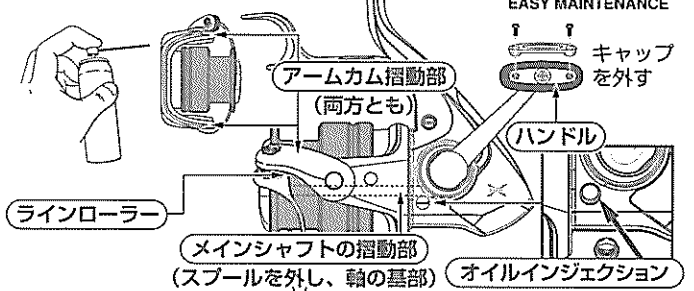
※最寄りの販売店にてお買い求め下さい。上記は 2011 年 7 月現在の品番及び税込本体価格です。

- ※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ありません。
- ※ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス（上記参照）以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要の方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。

●オイルインジェクションについて

オイルインジェクションからオイルを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行 5 回につき 1 度、または、次の釣行までの期間が 1 ヶ月以上ある場合に 1 度を目安にしてください。又、1 度の噴霧（注油）時間は約 1 秒です。注油後、注油キャップは必ずお開けください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。

オイル（スプレー）使用部品箇所



※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ありません。

水没時の緊急措置

万が一、リールを水浸させてしまい内部が浸水した場合は、下記の応急処置をとってください。

●淡水の場合

オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、十分に乾燥させた後、シマノ純正オイルスプレーを 1 ~ 2 秒間注油してください。

●海水/汽水の場合

真水で水洗いをしてください。その後、オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして完全に塩水を抜き、内部が乾燥するのを待たずに、最寄りの販売店を通じて弊社サービスに修理品としてお預けください。

定期メンテナンス

■ベアリングの塩噛み

S A-PB（シールド耐塩水ベアリング）はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する「塩噛み」を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-PB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-PB と交換しなければ完全には解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

■弊社サービスへご依頼下さい。

リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時の異音、違和感を感じられたら、最寄りの販売店を通じて直ぐ弊社サービスへ、そうでなくとも半年に 1 度はお預けいただくことをおすすめいたします。

■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールが無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくりと引っ張るようにして下さい。ハサミ等で元元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。

■移動時のご注意点

タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま温度の高い状態で、密閉された空間（自動車のトランク、タッシュボード）に放置されますと腐蝕を起こす可能性があります。

■落下にご注意下さい。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。（右図）

■水中での使用は出来ません。

水中での使用には対応していません。絶対におやめください。